

国土交通省-品確法に関わる6物質  
 厚生労働省指針13物質  
 文部科学省基準6物質  
**非配合**

HIGASHINIPPON TORYO

JIS K 5970



日塗検  
 JPO308004  
 建物用床塗料 上塗り

F★★★★

環境配慮型 2液水性ウレタン樹脂床用塗料

# フローンクイックF

水性 速乾 防滑 低臭 艶消 無鉛 遮熱

- 速乾** ■ 1時間(23℃)で上塗り可能です。
- 防滑** ■ 骨材既調合でフローン硅砂7号と同等の防滑性が得られます。
- 遮熱** ■ 夏場の太陽熱による表面の温度上昇を抑えます。
- 強靱な塗膜** ■ 溶剤系に匹敵する塗膜物性があります。

## ●容量・配合比

品名	容量			配合比		塗装面積(軽防滑工法の場合)
	A液	B液	セット	A液	B液	
フローンクイックF	15kg	1.5kg	16.5kg	10	1	0.2kg/㎡×2回塗りで41㎡
	6kg	0.6kg	6.6kg			0.2kg/㎡×2回塗りで16.5㎡

## ●乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	2時間	2時間	2時間
上塗り可能時間	3時間	1時間	1時間
歩行可能時間	4時間	2時間	1時間
重作業可能時間	24時間	24時間	24時間

\*乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意ください。

## ●性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観 A液	着色粘稠液	
B液	透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	100mg	JIS K 7204テーバー式摩耗試験機
鏡面光沢度	5	JIS K 5600 入射角60度
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

## ●耐薬品性・耐油性

試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、1ヶ月浸漬
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間
	○	キシレン、スポット試験48時間
	○	エタノール、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	○	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	切削油、スポット試験48時間

※◎=異常なし ○=やや白化  
 ※スポット試験はJIS A 5705に準拠

## ●色相 \*色相は色見本帳をご参照下さい。

### 常備色(6色)

- A-1 マスカットグリーン
- A-2 エメラルドグリーン
- A-3 フレッシュグリーン
- A-4 フォックスグレー
- A-5 サンドベージュ
- A-6 スカーレットブラウン

### 標準色(15色) \*受注生産

- B-4 ムーングレー
- B-5 シルバーグレー
- B-6 ハンターグリーン
- B-7 セメントグレー
- B-12 ライトベージュ
- B-15 キャメルイエロー
- B-16 チャイナベージュ
- B-18 ラインイエロー
- B-20 ライトグレー
- B-21 アーモンドブラウン
- B-22 マイルドグリーン
- B-23 ウォーターブルー
- B-24 ハーベストブラウン
- B-25 マリンブルー
- B-26 ゴールデンイエロー

### 指定色

# 標準工法

## 軽防滑工法(コンクリート面)(総合塗膜厚約0.3mm)

工程	材 料 名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	上塗り可能時間(23℃)	備 考
1	素地調整	—	—	—
2	フローンエコブラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	フローンクイックF	0.2	1~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フローンクイックF	0.2	軽歩行開放時間:2時間~ 重作業可能時間:24時間~	A液:B液=10:1(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

## 防滑工法(総合塗膜厚約1.2mm)

工程	材 料 名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	上塗り可能時間(23℃)	備 考
1	素地調整	—	—	—
2	フローンエコブラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	フローンクイックF	0.15	直後	A液:B液=10:1(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フローン珪砂6号又は7号(追吹付)	0.3	1~48時間	工程3の直後、リシンガン(口径3~4mmφ)にてフローン珪砂6号又は7号を散布。
5	フローンクイックF	0.2	1~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
6	フローンクイックF	0.2	軽歩行開放時間:2時間~ 重作業可能時間:24時間~	A液:B液=10:1(重量比)の割合でハカリにて計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

## 施工上の注意事項

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。  
必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により塗膜層のフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。したがって、含水率が、高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつ、pH9.5以下になってから施工して下さい。コンクリート・モルタルの打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また、降雨直後で下地が水を含んでいる場合は、2日以上乾燥して下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、フローンエポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨処理して下さい。
- 2液反応硬化型ですから、配合比を厳守して下さい。A液にB液を入れ、2分間以上電動攪拌機にて充分攪拌して下さい。不十分ですと、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。  
**また、A液を小分けする際には缶の天を切り、電動攪拌機で攪拌をしてから小分けして下さい。軽量骨材が表面に浮いている場合があります。**
- 混合攪拌時には、粘度が上昇し、その後、粘度が下がります。一定になってから塗装して下さい。
- B液は、キャップ口からのみの添加では、規定量を配合することは困難です。**フタ部を開放してゴムベラ等でかき出すように取り出して下さい。**  
規定量以下の配合では、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
- 基本的に希釈は必要ありませんが、希釈が必要な場合には、水道水で0~5%希釈してご使用下さい。5%以上希釈しますと、仕上りに支障をきたします。
- 塗料の厚塗り・溜りは割れ・フクレの原因となります。**標準塗布量を守り、ムラにならないように丁寧に塗装して下さい。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。

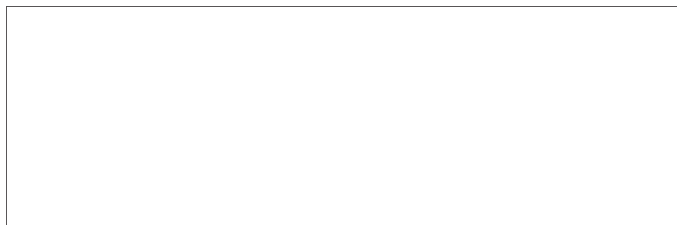
- 2液反応型ですから、**2時間以内に使い切ってください。**2時間を越えたものは、塗膜に欠陥を生じますから絶対に使用しないで下さい。
- 施工後23℃では、2時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
- ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
- 硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

- 施工時には引火、爆発、中等等の事故防止のため、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 開封後は速やかに使い切ってください。
- 直接皮膚に触れないように充分に注意して下さい。もし、触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- フローンクイックFは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは産業廃棄物として処理して下さい。
- 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。		
<b>業務用</b>	<p>&lt;注意事項&gt; 1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますから、取扱いについては、<b>容器に表示された注意事項を守ってください。</b></p> <p>2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。</p>		

●お問い合わせは.....



## 東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306